

One Team



輪島市立門前中学校 3年学年通信 第10号 2020.6.12

道徳で思いやり・感謝について考えました。

「背番号15が歩んだ道—黒田博樹」

黒田選手は、高校時代レギュラーになったことは一度もない。大学進学後、頭角を現し、プロ入り後もエースとしてチームをけん引した。そして、その活躍を支えたのは、ファンの存在だった。彼はそのことを決して忘れず、MLBの球団からの高額オファーも断って古巣の球団に戻り、ファンたちの熱い声援を受けてリーグ優勝を果たし、惜しまれつつ引退する。

目標が達成できたからと満足せず、初心を忘れず謙虚であり、努力すれば必ず自分のためになると改めて思った。僕も、人から応援される人、希望を与えられるような人になりたい。

こんなにすごくて偉い人でも感謝を忘れないんだなと思った。周りから本当に愛される人とは、こんな人のことを言うんだなと思った。



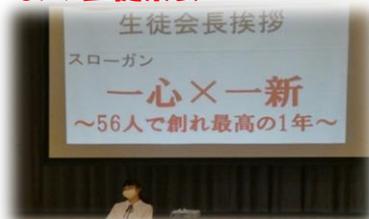
何かに成功すると、鼻が高くなってしまい人間性を失ってしまうが、やっぱりどんなに活躍していても一人でできたわけじゃないから、感謝を素直に伝える事を忘れてはいけないと思った。

自分には必ず応援してくれる人がいるという事を忘れないようにしたいと思いました。そして、その人たちへ感謝することや、期待に応えるべく自分の思いを持ち続けながら努力することは、人の心を大きく動かすことができるんだなと思いました。

何事にも感謝を忘れず、応援してくれる人を裏切らず思い続ける姿が、とても格好良いと感じた。私も黒田さんのように、応援してくれる人がいる事を当たり前だと思わない、感謝を忘れない人間になりたいと思った。

1週間の出来事

6/9 生徒集会



6/10 総合 門前町への提言



6/10 保健指導

